

第1部：再発議・再投票の請求について制限する期間を設けるか。

第1グループ

再発議（を制限）する期間を設ける	再発議を制限する期間を設けない
<div data-bbox="168 338 358 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     運動員のエネルギーが蓄えられる可能性が高い。                 </div> <div data-bbox="465 338 656 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     住民の関心が薄れる ↓ 投票率が下がる                 </div> <div data-bbox="797 389 1039 628" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     （条件では）仕方では社会的・経済的情勢等の変化で対応できる。                 </div> <div data-bbox="168 608 358 715" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     風化する 形骸化する                 </div> <div data-bbox="421 608 710 823" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     再請求の期間は2年が良いと思う。 （理由） 市長・議員の選挙（4年）とのかねあい。                 </div> <div data-bbox="797 692 987 887" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     前回の投票の影響を受けて結果を予測できる。                 </div> <div data-bbox="421 871 710 935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     半年でも十分では                 </div>	<div data-bbox="1182 363 1373 558" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     費用・エネルギーが多大に使われる（署名集めなど）。                 </div> <div data-bbox="1765 389 1955 533" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     期間をもうけない方が良い。                 </div> <div data-bbox="1182 660 1373 823" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     多くの人々にアピール出来る。                 </div> <div data-bbox="1458 533 1648 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     再請求できる（理由） 前投票後の事情の変化がある場合があるから。                 </div> <div data-bbox="1765 584 1955 715" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     判断する者がいない。                 </div> <div data-bbox="1765 762 1955 935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     新事実が出たとき、すぐに取り組めない。                 </div>

第2グループ

(再投票) 再請求必要	(再投票) 再請求が必要じゃない
<div data-bbox="159 368 353 491" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">再請求への道は閉ざすべきではない。</div> <div data-bbox="383 293 624 384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">権利など法的なものはおせる</div> <div data-bbox="383 400 624 491" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">時間の経過で人の考えも変わる</div> <div data-bbox="159 528 663 895" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">禁止期間はいらぬ。 その禁止期間に案件の状況が進んでしまう。また、それがどれだけ重大な事であるかは請求者側が知り得ていることであり、それを訴える権利、そして住民の知る権利も常に保障されていなければならない。(取り返しのつかない事態が招かれてしまった責任は全住民が負うことに発する)</div> <div data-bbox="689 512 880 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">はじめてはじめて知り得た現実の中であらためて完成をめざすべきか、見直しが出来ない事は負の遺産を残すのみ</div> <div data-bbox="907 512 1093 895" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事の重大さを考えると、投票の費用とまちがった決断の負の費用とを考えた時、直前の経済の論理で判断すべきではない。</div>	<div data-bbox="1149 304 1341 496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">もう一度最初から同じプロセスを踏まなければならない。</div> <div data-bbox="1429 304 1621 456" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">直接請求などへの転換がある。</div> <div data-bbox="1744 320 1962 552" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">法的拘束力ない結果尊重義務の場合は、強制力をもってしまいあいまいになる。</div> <div data-bbox="1149 528 1341 632" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">現実性がない。</div> <div data-bbox="1429 496 1621 600" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">制限がなく何回も</div> <div data-bbox="1688 632 1881 735" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">社会的なえいきょう大</div> <div data-bbox="1149 671 1341 759" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パワーが出ない。</div> <div data-bbox="1442 679 1635 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">建築の関係再請求だと問題が大きくなる。</div>
案 件	再 請 求
<div data-bbox="159 1007 353 1110" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">期間は必要なし</div> <div data-bbox="159 1126 353 1230" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(状況の変化がある。)</div> <div data-bbox="371 1142 557 1302" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民意に反する工事などの進行を止める。</div> <div data-bbox="584 1007 777 1302" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">時間の経過による変化で投票時とは違う要件 環境の変化や、政治的な指針の変化</div> <div data-bbox="857 1023 1050 1110" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">期間あり</div>	<div data-bbox="1149 1007 1341 1126" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">状況の変化で事が進行する。</div> <div data-bbox="1149 1150 1341 1302" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">住民投票自体が必要なくなる。</div> <div data-bbox="1496 911 1688 991" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">再 請 求</div> <div data-bbox="1541 1094 1704 1206" style="text-align: center;">必要 禁止期限なし 何回も</div>

第6回ワークショップ結果

第1グループ

直接請求	住民投票条例	
<p data-bbox="156 327 389 464">直接請求でもよいのでは</p> <p data-bbox="129 496 362 633">①システムは単純がうまくいく</p> <p data-bbox="129 687 362 825">②お金がかからない</p> <p data-bbox="129 857 362 1032">③情報公開をする土台をまず作り上げるべき</p> <p data-bbox="129 1080 362 1217">④地方議会の変革と表裏一体ですべき</p> <p data-bbox="129 1249 434 1386">⑤住民が成熟しているのか？ (いつも同じ顔ぶれ)</p> <p data-bbox="555 464 788 601">直接請求で重大な案件も可決されている</p> <p data-bbox="766 560 999 697">刈羽村原発のプルサーマル計画</p> <p data-bbox="537 722 819 968">情報の提供がなされない事実があるので、住民は多大なエネルギーばかり費やされることになる</p> <p data-bbox="537 1064 770 1201">政策決定の説明責任がなされてきたか？</p> <p data-bbox="555 1265 788 1370">= 地域のエゴが現れないか</p>	<p data-bbox="1182 458 1487 786">個別型でも常設型でもどちらでも良いと思う。 (理由) 時の流れによって事情の変化があるから「住民条例は必要と考える」前提</p> <p data-bbox="1182 825 1473 1064">地方分権を考える時、住民投票制度は必要と考える。(地方の独自性を理由とする。)</p>	<p data-bbox="1621 362 1877 499">常設型で拘束力がある条例が今は必要！</p> <p data-bbox="1693 499 1980 681">議会制度・行政制度が、北欧型が理想。そうならば、いらない。</p>

第6回ワークショップ結果

第2グループ

必要		不要（直接請求）	
<p>住民自治を考えた時、住民投票は必要</p>	<p>住民の安全安心からかけはなれた公共事業、国の施策を思う時住民の総意を確認し合い、正も負もすべてを“になう”住民が決断の意思を持つこと、それに責任をもとうとする</p>	<p>投票資格者 18才以上、外国人？ (できるだけ多くの人が参加できるように)</p>	<p>投票結果はどんなものでも知らせてほしい</p>
<p>住民投票を行う事で住民自らの責務(責任)をうながす</p>	<p>住民自治の実現のために、この投票制度が活用されていくことを願っています。 ・そういった意味からも出来るだけ制限をはずすこと ・多くの人の参加 ・何度でも請求 ・あらたな重大な事実を知り得た時の即応性などを確保しておきたい ○そして最も大切な理念として目先の費用にとらわれる事のない、広くかつ長期的視野を持つ住民の意識の成長を促していくことが大切</p>	<p>投票の期日 できるだけ長くしてほしい</p>	<p>直接請求が良い ・法律はシンプルが良い ・直接請求の事例が多い</p>
<p>住んでる所の問題が顕かになり、考える機会を与え、意識改革できる</p>		<p>請求・発議者 ・わかりません 人口割合 専門家の意見がほしかった</p>	
常設型		個別型	
<p>常設型があると問題が起きた時取り組みやすい</p>	<p>住民投票（常設型） いる・必要 (より現実的な執行ができる。直接意見を聞ける)</p>		<p>住民投票の費用の削減をしてほしい</p> <p>情報公開時、役所ではどのようにバックアップしてくれるのか？</p>